

中国・アジアダイジェスト

*記事は東京発行・最終版

2019.04.29—05.24

CHINA

日本規格協会は、ISOのシンガポール事務所職員を初めて派遣する。東南アジア各国でISO普及に向けた周知活動を行う(シンガポールの街並み=16付)

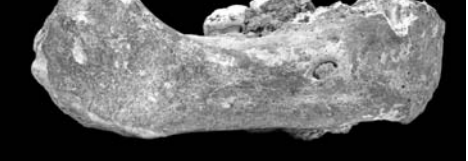


tとECサイトを関連付ける。(1面)

策を中国が撤廃できるか。米国は制裁関税の強化を表明。中国は態度を硬化。交渉が決裂する可能性。(1面)

「デニソフ」歯の化石発見 16万年以上前/中国甘粛省西部

ネアンデルタール人に近い「デニソフ」の16万年以上前と推定される歯の化石が中国甘粛省西部の洞窟で見つかったと、中国の蘭州大学やドイツの研究などが発表した。(21面)



デニソフ人の下顎骨化石(中国・蘭州大提供)

■インフラ投資に新たな枠組み 日中韓/ASEAN向け

日本と中国、韓国は、フィジーで財務相・中央銀行総裁会議を開いた。ASEANに民間のインフラ投資を呼び込むため、新たな資金調達枠組み整備を後押しする。(時事=2面)

■対中関税「10日に25%」 米中貿易協議に暗雲

米中貿易協議に暗雲。米国は中国からの輸入品2000億ドル相当に、10日から追加関税を現状の10%から25%に引き上げると表明。協議再開を前に中国から譲歩を引き出す狙い。(1面)

■経団連会長「影響力大きい」 対中関税25%

経団連・中西宏明会長は、米国の対中関税25%について「影響力は大きい」と懸念。「(企業は)無防備でいるわけでもない、サプライチェーンの変更も起こっている」とした。(3面)

■オークマ、中国新工場 台湾から移管/低価格機

オークマは、中国2社目の工作機械生産会社を常州市に6月設立する。台湾工場のみで生産する自動化対応の低価格機「GENOS(ジェノス)」の中国向けの生産を段階的に移す。(8面)

■食肉の衛生管理一集団感染防ぐ パナソニック

パナソニックは、食肉の衛生管理を高度化するゴールドチェーン統合システムを中国で発売する。センシング技術で感染症を事前検知。ブロックチェーンで履歴管理改ざんを防ぐ。(9面)

■産業補助金一中国譲らず 米中閣僚級協議/9日再開

米中閣僚級貿易協議を9日再開する。焦点は、産業補助金など自国優

■5月10日(金) □

■韓国の人気ゲーム、配信中止 中国テセント

HDは、韓国の人気ゲーム「プレイヤーズ・オブ・ウォー」の中国国内での試験配信を中止することを明らかにした。(時事=4面)

■楽天、大連に第3開発拠点 優秀なエンジニア確保

楽天は、大連市に新たな開発拠点を開設した。技術革新がめざましい中国に開発拠点を設け、優秀なエンジニアの確保につなげる。北京、上海市に開発拠点を設けている。(11面)

■5月13日(月) □

■米中閣僚協議一物別れ 日本一業績修正/中国工場移転

米政府は、中国との貿易協議が不調に終わった中国からの輸入全製品に制裁関税を課す準備。米中貿易戦争の戦禍は広がり、日本企業は業績修正や中国工場移転を迫られる。(1面)

■自動車関連の新興企業を発掘 日産連合/中国

仏ルノー・日産自動車・三菱自動車の3社連合が運営するVCは、米VB支援企業P&Pと中国で協業。自動車関連分野の新興企業を発掘するプログラムを展開する。(6面)

■5月14日(火) □

■JDI出資、機関決定を再延期 事業見直し再精査/中台連合

ジャパンディスプレイは、同社へ出資を予定する中国・台湾企業連合「Suwaコンソーシアム」の出資の機関決定時期が再延期された。新たな時期は不明。事業見直しを再精査。(4面)

■米輸出=中国→タイ トビー工業/アルミホイール

トビー工業は、中国で生産し、米国に輸出する自動車用アルミニウムホイールの生産体制を変更する。米中摩擦激化の措置。中国からタイ拠点の輸出に変更する。(6面)

■ニッセイ、営業拠点3カ所追加 減速機/売上高5割増

ニッセイは、中国で減速機の販売網を強化する。上海市と深圳市に拠点。営業拠点を3カ所追加する。天津市か北京市、広州市、江蘇省で検討。これにより売り上げを50%増。(7面)

■5月16日(木) □

■大塚家具、中国に活路 Tモール出店

大塚家具が、事業計画。中国ネットショップ「Tモールグローバル」に出店、中国を伸ばす。青山にドイツの家具ブランドの専門店、高級価格帯の家具で粗利益改善。(3面)

■JAL、越境ECで協業 購入者に高速で商品

日本航空は、中国物流・宏遠グループHDと越境ECで協業する。中国ECサイト運営会社との間で商流構築を支援し、現地の購入者に高速で越境EC商品を届ける。(17面)

■5月17日(金) □

■米、ファーウェイ向け禁輸 ハイテク部品など

米国が、中国への貿易圧力を強めている。華為技術(ファーウェイ)への米国製ハイテク部品などの輸出を原則禁止する措置を発動した。米中貿易協議がまた一歩後退する。(1面)

■全米農業連盟、早期解決を要請 前例がない経済的困難

全米農業連盟は、ジッピー・デュバル会長がトランプ大統領に書簡を送り、長期化している米中貿易摩擦の早期解決を要請した。「前例がないほど経済的困難」。(時事=4面)

■仏ブルジョアと中国事業拡大 JFE商事/車載用モーターコア

JFE商事は、仏モーターコア大手

・ブルジョアの中国法人の株式の一部取得した。仏ブルジョアとはすでに北米で、車載用モーターコアの製造・販売を合併で進めている。(15面)

■5月20日(月) □

■日東精工、広州市に新拠点 工業用ネジ/自動車向け

日東精工は、自動車産業が集積する中国・華南地区での販売強化を狙い、広州市に新拠点を設ける。工業用ネジや、自動ネジ締め装置の受注拡大を狙う。(7面)

■5月21日(火) □

■GDP2.1%成長も楽観できず 米中貿易摩擦の激化

2019年1-3月期の実質GDPは、前期比0.5%増(年2.1%増)と2四半期連続のプラス成長。ただ、米中貿易摩擦の激化などもあり、先行きは決して楽観できない。(深層断面=28面)

■グーグル、取引停止 ファーウェイ/アンドロイド更新

グーグルが、中国ファーウェイとの取引の一部を停止した。スマートフォン向け「アンドロイド」の更新版の提供も打ち切り、ファーウェイの携帯事業に打撃となりそうだ。(時事=4面)

■インテルなど4社も供給停止 ファーウェイへの部品供給

ファーウェイへの禁輸措置で、インテル、クアルコム、サイリクス、ブロードコムなど半導体メーカー4社がファーウェイへの部品の供給を停止する通知を出した。(時事=4面)

■日本との協調融資伸ばしたい AIB総裁

中国が主導するアジアインフラ投資銀行・金立群総裁は「(日米が率いる)アジア開発銀行のほか、JICA、JBICなどと連携して協調融資を伸ばしていきたい」。(4面)

■ライオン、中国販売を一元管理 越境EC積極活用

ライオンは、ヘルス&ホームケア事業本部に「越境事業推進室」を設置。中国販売ルートを一元管理。売り上げを3倍に、利益を最大化。越境eコマースも積極的に活用。(11面)

■5月23日(木) □

■産口ロバ、下方修正 米中摩擦考慮/2.3%減9400億円

日本ロボット工業会は、産業用ロボット受注額の2019年見通しを下方修正した。2.3%減の9400億円、7年ぶりの前年割れ。米中貿易摩擦の激化で回復が遅れる可能性も考慮。(3面)

■ファーウェイ端末一発売延期 ドコモなど/アンドロイド影響

携帯電話大手3社と楽天モバイルは、中国ファーウェイ製スマートフォ

「中国・アジアダイジェスト」面 次回は6月17日に掲載します。

ンの夏モデルの発売を延期する。OS「アンドロイド」の更新版の提供を打ち切る影響を懸念した。(3面)

■CNPC、ミャンマー進出 燃料小売り/給油所展開

中国石油天然ガス集団(CNPC)は、ミャンマーで給油所の大幅展開を計画。中国燃料市場が飽和状態。ミャンマーを燃料小売りにおける貴重な未開拓市場と判断。(時事=5面)

■中国・監視カメラも制限か ハイビジョン/米中摩擦

トランプ政権は、中国・防犯・監視システム最大手・杭州海康威視デジタル技術(ハイビジョン)の製品が米国の利害を損なう恐れがあると、米企業による取引制限を検討。(時事=10面)

■中国廃プラ規制一処理費増加 日本の自治体/環境省まとめ

環境省は、中国が廃棄物の輸入を規制した影響について自治体と処理業者が調査結果。自治体は39件(32.0%)でプラスチック廃棄物などの保管量が増加し、50件で処理費用が上昇。(17面)

■5月24日(金) □

■ファーウェイ…格安スマホも延期 mineo・I I Jなど

華為技術(ファーウェイ)製の新型スマートフォンが発売延期が、格安スマートフォン各社にも波及している。mineo、I I J、LINEモバイル、NTTレゾナントなど。(3面)

■産業構造に大きな変化 ファーウェイ/日商会議

日本商工会議所・三村明夫会頭は、米政府が中国の通信機器大手の華為技術(ファーウェイ)への事実上の輸出規制について、産業構造の大きな変化につながる可能性を指摘。(3面)

■日仏中で生産・開発を刷新 フォルシア/クラリオン買収

仏自動車部品フォルシアは、クラリオンの買収で、国内外の生産と開発体制を見直す。中国では工場の統廃合で調整。仏ではグループで連携して研究開発体制。日本には工場。(7面)

■TELOP

■鋼鉄プラント、中国で更新工事 三菱日立製鉄機械系(16日10面)

■中国・製紙大手から2基受注 ガスタービン/三菱日立PS(17日10面)

■香港子会社を清算 トッパン・フォームズ(22日12面)

■ロフト、成都に初の直営店 イトヨーカ堂店舗内(22日17面)

■キュービー、海外4割増を目指す 中国・東南ア開拓(23日17面)

ASIA

■4月29日(月) □

■昭和電工、ベトナム第3工場 年13億

昭和電工は、ベトナム南部バリア・ブンタウ省にアルミ缶の新工場を建設する。生産能力年13億缶。同国3拠点目。併せて、バクニン工場に年産11億枚の缶蓋ラインを増設する。(9面)

■三井不、物流施設でタイ進出 バンコク近郊に2施設

三井不動産は、物流施設事業で2020年に海外進出する。タイの財閥系不動産大手と共同事業契約。バンコク近郊に2施設を開発する。総事業費約185億円。(13面)

■4月30日(火) □

■造船一韓・中台頭、船腹過剰 回復の足取り鈍く

厳しい情勢が続く造船業界。リーマンによる受注減や90年代からの韓国・中国での急激な造船能力増強で世界的な「船腹過剰問題」は依然尾を引く。回復の足取りは鈍い。(6面)

■5月3日(金) □

■インド人民党一優勢 インド総選挙/与党連立政権へ

インド総選挙は、世界最大の民主主義国の選挙。9億人に投票権。下院543議席をめぐる与党インド人民党と最大野党の国民会議派が争う。人民党が優勢で与党連合が過半数の観測。(4面)

■タイ総選挙一政局不安定 戴冠後の王室絡みの政情も懸念

タイ総選挙では、現暫定政権の軍政側とタクシン元首相を支持するタクシン派などの反軍政側とがせめぎ合う。下院の過半数を得られない見通し。戴冠後の王室絡みの政情も懸念。(4面)

■5月6日(月) □

■インドネシアでクレーン生産 三井E&Sマシ/港湾コンテナ用

三井E&Sマシナリーは、インドネシアで港湾コンテナ用クレーンの現地生産を始める。現在は脚の部分など部分生産。東南アジアやアフリカでは港湾整備に伴う新規需要が旺盛。(1面)

■5月8日(水) □

■DIC、インド塗料用樹脂参入 アイディール買収

DICは、インドの塗料用樹脂市場に本格参入する。中堅塗料用樹脂メーカー・アイディール・ケミ・プラストを買収した。自動車補修などに用いるアクリル樹脂などを製造販売。(10面)

■5月9日(木) □

■陸特殊金属、ミャンマー工場 プラ成形品/家電・自動車向け

陸特殊金属工業は、ミャンマーに進出する。グループ企業の陸香港(香港)が、バゴー市にプラスチック成形品製造工場を建設、10月稼動。家電・OA、自動車向け。(24面)

■3Dプリンターでトイレ建物 インド/会沢高圧コンクリ

会沢高圧コンクリートは、インドで3Dプリンターを使ったトイレの建物づくりに乗り出す。インドはトイレの普及が遅れており、設置されても使われていないのが実情。(25面)

■5月10日(金) □

■ハイレックス、印25%増産 車用コントロールケーブル

ハイレックスコーポレーションは、インドの自動車用コントロールケーブルや窓開閉装置の生産能力を25%増強する。インド4工場のうち3工場で生産設備を増設する。(7面)

■インドで次世代環境都市 AIで交通監視/NEC

NECのインド現地法人は、ググルラム都市圏開発公社から、スマートシティ(次世代環境都市)プロジェクトを受注した。AIを活用した交通監視や市中監視システムを構築。(12面)

■5月15日(水) □

■CO2からメタン製造 IHI/シンガポールに装置

IHIは、シンガポール科学技術庁傘下の研究機関と共同開発したメタン化触媒を用いて、CO2からメタンを製造するデモ装置を開発した。発電用燃料や都市ガスとして利用。(8面)

■北川鉄工、インドに新工場 旋盤用チャック/年6000台

北川鉄工所は、インド・ベンガロールに旋盤用のチャックを生産する新工場を建設する。年産6000台。現地工作機械メーカー5社にOEM供給。日本からの輸出を現地生産に。(9面)

■5月16日(木) □

■規格協会、東南アと連携 ISO事務所に常駐

日本規格協会は、ISOのシンガポール事務所に職員を初めて派遣する。職員はISOの職員として同事務所に常駐。東南アジア各国でISOに関連する事業に取り組む。(2面)

■アジア・ビジネス人材育成 アジア経営戦略研/中小後継者

アジア経営戦略研究所は、「AIBSビジネススクール」を開校した。経営のイノベーションを担う人材を育成する。中堅・中小企業の後継者や経営幹部の育成に焦点。(27面)

■5月17日(金) □

■九電、タイに300億円投資 現地大手の経営参画

九州電力は、タイ大手発電事業者E

GCOに300億円を投資。経営参画し海外での収益を拡大する。持ち分出力は、建設中の案件も含めて35万kw増の約230万kw。(3面)

■ミャンマー火力発電所に出資 中国電・四国電/全量売電

中国電力は、四国電力とともに、ミャンマーで商業運転中の天然ガス火力発電所(出力12万1000kw)に出資して発電権益を取得する売買契約を結んだ。全量を売電する。(17面)

■5月20日(月) □

■コマツ、稲作改革を支援 インドネシア/フル活用

コマツは、インドネシアで農業支援を始める。CSR活動で石川県で行っているブルドーザーを活用した稲作改革のノウハウを同国に展開。輸入に頼る同国の課題解決を支援。(8面)

■5月22日(水) □

■ベトナムが最多203人 新在留資格/合格率75.4%

4月に導入した新在留資格「特定技能1号」の技能試験結果が初めて発表された。外食業の試験に347人が合格した。ベトナムが最多203人。受験460人。合格率75.4%。(2面)

■アジア洋上風力開拓一丸紅 特殊船2隻移管/日韓台

丸紅の柿木真澄社長は「アジアにおける洋上風力発電への取り組みを強化する」。洋上風力発電据え付け専用の特殊船5隻のうち2隻をアジア移管。日本、韓国、台湾など向け。(4面)

■トヨタ紡織、インドに開発拠点 シート・内装品/小型車

トヨタ紡織は、インドに営業・開発を担う事務所を開設。自動車メーカーの車両開発段階から連携してシートや内装品を提案する。新興国の小型車事業で営業力強化。(6面)

■737MAX運航停止を継続 インドネシア

インドネシア当局は、ボーイング737MAXの運航停止を来年末まで続ける可能性があるとした。米連邦航

■韓国バイオ医薬品株を売却 日医工

日医工は、保有する韓国アプロジェンの株式の一部を韓国企業に売却することを決めた。出資比率は、売却前の31.7%から10.3%に低下する。バイオシミュラーの研究開発が目的。(11面)

■オリコ、フィリピン進出 アジア開拓

オリココーポレーションは、フィリピンにファイナンス会社を設立する。12月に営業を開始する。2カ国目の海外拠点。新中計でアジアでの事業拡大を掲げた。(19面)

■5月22日(水) □

■ベトナムが最多203人 新在留資格/合格率75.4%

4月に導入した新在留資格「特定技能1号」の技能試験結果が初めて発表された。外食業の試験に347人が合格した。ベトナムが最多203人。受験460人。合格率75.4%。(2面)

■アジア洋上風力開拓一丸紅 特殊船2隻移管/日韓台

丸紅の柿木真澄社長は「アジアにおける洋上風力発電への取り組みを強化する」。洋上風力発電据え付け専用の特殊船5隻のうち2隻をアジア移管。日本、韓国、台湾など向け。(4面)

■トヨタ紡織、インドに開発拠点 シート・内装品/小型車

トヨタ紡織は、インドに営業・開発を担う事務所を開設。自動車メーカーの車両開発段階から連携してシートや内装品を提案する。新興国の小型車事業で営業力強化。(6面)

■737MAX運航停止を継続 インドネシア

インドネシア当局は、ボーイング737MAXの運航停止を来年末まで続ける可能性があるとした。米連邦航

空局が再開を認めたとしても独自に決定を下す。(8面)

■段ボール、東南ア・中国を開拓 ダイナパック

ダイナパックは、段ボールで東南アジアと中国を深耕する。工業製品や食品の梱包用や容器に加え、樹脂製から紙製への転換が出ている緩衝材で日系や現地企業を開拓。(15面)

■5月23日(木) □

■オカダアイオン、タイに拠点 圧砕機/オランダ現法化

オカダアイオンは、主力の建設機械用アタッチメント(圧砕機)でアジアと欧州の営業基盤を増強する。タイに駐在員事務所を開設。オランダを現地法人化する。(9面)

■フィリピンに梱包材新工場 カネパッケージ/4割増産

カネパッケージは、フィリピンに梱包材の新工場を建設する。現地で日系メーカーの進出が相次ぎ、梱包材の需要が増えると判断。同国内での生産能力は約4割増える。(27面)

■5月24日(金) □

■ヤマハ発、フィリピン2倍 2輪/年80万台

ヤマハ発動機は、フィリピンでの2輪車年産能力を2倍の80万台に拡大する。115-125ccの2輪車を生産。組み立てラインを増設、125ccの「ミオ」を増産する。(7面)

■TELOP

■川重、マレーシア共同運営社増資 2輪車製造・販売(20日6面)

■大韓航空、下地島一ソウル チャーター便(21日14面)

■ベトナム・エビ生産加工会社出資 三井物産(22日4面)